

私の旅の思い出

URL: <https://youtu.be/sE2vbcE-4oA>

今回は「私の旅の思い出」を学びながら、日本語を勉強しましょう。
この動画は、前半は少しゆっくりのスピードで、漢字には「ふりがな」があります。
後半は少しだけ速く（+20%）なり、漢字に「ふりがな」はありません。
学習にお役立ててください。

■日本を旅する私の自己紹介

私の名前はアレックスです。出身はオーストラリアです。私は日本の文化に興味があり、日本に来ました。特に、歴史がある町や、静かな場所が好きです。これまでに日本へは何回か旅行したことがありますが、京都に行くのは今回が初めてでした。

京都は、日本の昔の文化がたくさん残っている町だと聞いていました。お寺や神社、古い町並みがあり、ゆっくり歩いて楽しめる場所だと思いました。そのため、今回の日本旅行では、京都に行くことを一番の目的にしました。

この旅では、観光だけでなく、食事や町の空気も大切にしたいと考えていました。急がず、自分のペースで京都を感じる旅にしたいと思い、特別な計画を立てました。

■京都に着いた日のようす

京都駅に着いたとき、まず人の多さにおどろきました。駅はとても大きく、たくさんの方が行き来していました。しかし、少し駅を出ると、町の雰囲気が変わりました。音が少なくなり、落ち着いた空気を感じました。

たてもの み あたり ふる しぜん なら たか
建物を見ていると、新しいものと古いものが自然に並んでいました。高いビル
の近くに、昔からあるような建物もあり、不思議な気持ちになりました。東京
とはちがう町の雰囲気を感しました。

いどう でんしゃ つか さいしょ ろせん おお すこ わ
移動には電車とバスを使いました。最初は路線が多くて少し分かりにくかった
です。でも、案内が見やすく、ゆっくり確認すれば問題ありませんでした。バ
スの窓から見える町の景色はとてもきれいで、外を見ているだけでも楽しかっ
たです。

この日、特別なことはあまりしませんでした。長い移動のあとだったので、町
を少し歩き、近くで食事をして早めに休みました。それでも、「京都に来た」
という実感があり、これから始まる旅が楽しみになりました。

■ 宿泊先と毎日の過ごし方

わたし と ばしょ きょうと まち なか ちい やど おお
私が泊まった場所は、京都の町の中にある小さな宿でした。大きなホテルでは
なく、静かで落ち着いた雰囲気の場所です。入口から中に入ると、外の音が聞
こえなくなり、とても安心した気持ちになりました。
朝は早くおきました。外を見ると、まだ人が少なく、町はとても静かでした。
近くを少し歩くと、店の準備をしている人や、通学する学生の姿が見えました。
そのようすを見るだけでも、京都の日常を感じることができました。

ひる かんこう で ある ちず み まち ある き
昼は観光に出かけ、たくさん歩きました。地図を見ながら町を歩き、気になっ
た道に入ってみることもありました。予定どおりに進まないこともありました
が、それも楽しい時間でした。
夜は早めに宿に戻りました。昼に歩いた道や、見た景色を思い出しながら、次
の日の予定を考えました。無理をせず、自分の体と気持ちを大切にしながら過
ごすことが、この旅の大事なポイントでした。

■ 有名な場所をめぐった一日

この日は、朝から有名な場所を見に行きました。まず向かったのは、「清水寺」
です。朝早い時間だったので、人はまだ少なく、静かな空気の中を歩くことが
できました。高い場所から町を見下ろすと、景色が広がり、とても気持ちがよ
かったです。

そのあと、「伏見稲荷大社」にも行きました。赤い門が長く続く道を歩きました。歩いてみると、鳥の声や風の音が聞こえ、自然を近くに感じました。少し坂があり、足は疲れましたが、心は落ち着きました。

昼ごろになると、「嵐山」に移動しました。この時間は人が多く、写真を撮る人や家族で来ている人がたくさんいました。道を歩くのは少し大変でしたが、有名な景色を見ることができてうれしかったです。

一方で、少し道はずれると、人が少ない場所もありました。細い道や小さな坂を歩いていると、急に静かになりました。そのような場所では、時間がゆっくり流れているように感じました。

この一日は、たくさん歩いて少し疲れましたが、京都らしい景色をたくさん見ることができました。体は疲れていましたが、気持ちはとても満足していました。

■京都で食べたもの

京都では、食事の時間もとても楽しみでした。観光の合間に、前から気になっていた店に入りました。店の外はにぎやかでしたが、中に入ると静かで落ち着いた雰囲気でした。

昼には、「湯豆腐」を食べました。あたたかくて、やさしい味でした。しょうゆを少しつけて食べると、豆の味がよく分かりました。こい味ではなく、体が休まるような料理だと感じました。

別の日には、「にしんそば」も食べました。そばの上のった魚はやわらかく、だしの味がしっかりしていました。初めて食べましたが、思っていたより食べやすく、おいしかったです。

歩きつかれたときは、「抹茶と和菓子」を楽しみました。甘いおかしと、少し苦いお茶の組み合わせがとてもよかったです。見た目もきれいで、食べる前から楽しい気持ちになりました。

よる ひと すく じかん しょくじ ひと しず た お
夜は、人が少ない時間に食事をしました。まわりの人も静かに食べていて、落
ち着いた時間を過ごせました。ゆっくり食べながら、その日の出来事を思い出
しました。

しょくじ とお きょうと いそ まち かん はや た じかん
食事を通して、京都は「急がない町」だと感じました。早く食べるより、時間
をかけて味わうことが大切にされているように思いました。この時間も、旅の
大切な思い出の一つになりました。

■特別に計画した体験

きょうと い まえ たいけん
京都に行く前から、どうしても体験してみたいことがありました。それは、
「着物を着て町を歩くこと」です。男性でも着られると知り、旅行の前に店を
調べて、時間と場所を決めていました。

とうじつ すこ きんちょう みせ はい みせ ひと きもの しゆるい いろ
当日は、少し緊張しながら店に入りました。店の人が、着物の種類や色につい
て分かりやすく説明してくれました。サイズも体に合わせて選んでくれたので、
安心して着ることができました。

きもの き うご しぜん ある かた た かた
着物を着ると、動きが自然とゆっくりになりました。歩き方や立ち方も、いつ
もより綺麗になった気がしました。鏡を見たとき、いつもの自分とはちがう姿
で、少し不思議な気持ちになりました。

そのま まち ある けしき み かた か いし みち ふる たてもの き
そのまま町を歩くと、景色の見え方も変わりました。石の道や古い建物が、着
物によく合っていると感じました。まわりの人から声をかけられることもあり、
うれしかったです。

この体験を通して、日本では服装と行動が関係していると感じました。着物を
着ると気持ちが落ち着き、歩き方や周りへの気づかいも自然とていねいになり
ました。この特別な体験は、見て回るだけの観光とはちがいました。自分の体
で感じた時間だったので、京都の思い出の中でも、特に強く心に残っています。

■ 旅行中に少し困ったこと

京都の町を歩いていると、道が分かりにくいと感じることがありました。地図を見ても、同じような道が多く、今どこにいるのか分からなくなることがありました。特に、小さな道に入ったときは少し不安になりました。

また、人が多い時間帯は、前に進むのが大変でした。バスに乗るときも、たくさんの方が並んでいて、長く待つことがありました。立ったまま移動することもあり、体が少し疲れました。

言葉の面でも、少し困った場面がありました。店の人が早く話すと、すぐに理解できないことがありました。そのときは、聞き返したり、ゆっくり話してもらったりしました。このように、旅行中には小さな困りごとがいくつかありました。しかし、大きな問題にはならず、今思うと、それも旅の一部だったと感じています。

■ 困ったことをどうやって乗りこえたか

道が分からなくなったとき、近くにいた人に声をかけました。ゆっくり話すと、相手もゆっくり答えてくれました。地図を見ながら、ていねいに教えてもらい、とても助かりました。

バスがすぐに来なくても、あわてませんでした。時間に余裕をもって行動していたので、落ち着いて待つことができました。その間に、まわりの景色を見たり、次の予定を考えたりしました。

言葉がうまく通じないときは、短い文で話しました。むずかしい言い方をさけて伝えると、相手も理解しやすいようでした。身ぶりを使うこともありますが、それも役に立ちました。

こうした経験を通して、日本の人のやさしさを強く感じました。困ったときに助けてもらえたことで、不安な気持ちはなくなり、旅を安心して続けることができました。

■京都で感じた日本らしさ

京都を旅していて、まず気づいたのは、町の中での人のふるまいでした。人が多い場所でも、大きな声で話す人は少なく、周りを意識して行動している様子が見られました。

特に印象に残ったのは、列にきちんと並ぶことや、他の人のじゃまにならないように道をゆずる動きです。こうした行動が、特別なことではなく、自然に行われていました。

また、店や施設では、ていねいな対応が多く見られました。急かされることなく、一つ一つのやり取りを大切にしているように感じました。これらの経験から、日本では周りとの調和や、落ち着いた行動を大切にする考え方が、生活の中に根づいていると感じました。

■旅の終わりに思ったこと

京都で過ごした時間は、楽しいだけでなく、自分を見つめ直すきっかけにもなりました。この旅は、心に残る、意味のある旅だったと感じています。

次に京都を訪れるときは、もっと日本の文化を身近に感じられる体験をしたいと思いました。たとえば、早朝の神社やお寺を歩く時間や、人通りの少ない路地をゆっくり歩くことです。観光客が少ない時間帯に歩くことで、京都の落ち着いた空気を、より深く感じられると思います。

また、茶道体験や和菓子作りなど、短い時間でも参加できる文化体験にも興味を持ちました。見るだけでなく、自分で体験することで、日本の考え方や丁寧さを、より理解できると感じたからです。次の旅でも、急がず、時間に余裕をもって行動しながら、京都の生活や文化に、もう一歩近づいてみたいと思います。

「私の旅の思い出」はいかがでしたか。
コメント欄から感想をみんなに教えてください。
それでは、また別の動画でお会いしましょう。



Japanese-listening-SUSHI

